

平成30年度

生命環境学群地球学類
推薦入試

小論文
試験問題

注意事項

- ① 問題Ⅰから問題Ⅲのすべてに解答すること。
- ② 解答用紙は各問題に対して1枚使用し、横罫線用紙を問題ⅠとⅡに、マス目用紙を問題Ⅲに用いること。それぞれの解答用紙の横長の箱内に「問題Ⅰ」のように問題番号を明記し、小問に分かれている場合は解答用紙に「問1」のように小問番号を記入した上で、小問ごとに解答すること。
- ③ 下書き用紙は試験終了後持ち帰ること。
- ④ 試験時間は120分です。

問題 I 次の英文を読み、以下の問に答えなさい。

[The following text is extremely blurry and illegible. It appears to be a passage from a scientific or environmental text, likely related to the provided glossary and questions.]

(Nature Geoscience, doi:10.1038/ngeo1798 より抜粋・改変)

注 ban: ~を禁止する, sanction: 制裁(措置), lid: ふた, unappealing: 魅力のない, sperm whale: マッコウクジラ, flower pot: 植木鉢, gastric: 胃の, rupture: 破裂, gyre: 渦, North Pacific Gyre: 北太平洋旋回, debris: 破片, toxic: 有毒な

問 1 下線部 (a) の devastating consequences について、本文中で述べられている具体例を 100 字程度でまとめなさい。

問 2 下線部 (b) の this prediction の内容を、本文の記述に基づいて 100 字程度で説明しなさい。

問 3 下線部 (c) を和訳しなさい。

問題 II 地球温暖化に関する以下の問に答えなさい。

問 1 温室効果を引き起こす仕組みについて放射の観点から 100 字程度で説明しなさい。

問 2 地球温暖化に伴う海洋、生態系、降水量の 3 つの変化について、それぞれ一つずつ例を挙げて、それらをもたらした要因や影響も含めて 150 字程度で述べなさい。

問題 III 地球史の知見として、様々な地質現象が過去に起こっていたことが明らかになっている。地質現象を一つ選び、その現象の解明は、こういった対象をこういった手法で解析することで行われているのか、対象の年代決定方法も含めて、300 字程度で説明しなさい。なお、地質現象の例として、スノーボールアース、ヒマラヤ山脈の形成、古東京湾の発達などがあげられるが、これらの例に縛られることなく、自由に選んでよい。